

# 地方独立行政法人長野県立病院機構の平成 30 年度業務実績及び第 2 期中期目標期間の業務実績の見込みに係る評価結果について

健康福祉政策課

地方独立行政法人長野県立病院機構の平成 30 年度業務実績及び第 2 期中期目標期間（H27～R 元）の終了時に見込まれる同期間の業務実績について、地方独立行政法人法第 28 条第 1 項に基づき、評価を行いました。

地方独立行政法人法（平成 15 年法律第 118 号）第 28 条第 1 項

地方独立行政法人は、毎事業年度の終了後、当該事業年度が次の各号に掲げる事業年度のいずれに該当するかに応じ当該各号に定める事項について、設立団体の長の評価を受けなければならない。

- 二 中期目標の期間の最後の事業年度の直前の事業年度 当該事業年度における業務の実績及び中期目標の期間の終了時に見込まれる中期目標の期間における業務の実績

## 1 平成 30 年度の業務実績に関する評価

### (1) 総合評価 A 評価：年度計画を達成

「県民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項」、「業務運営の改善及び効率化に関する事項」及び「財務内容の改善に関する事項」について、いずれも年度計画を達成している。

### (2) 項目別評価 3 項目いずれも A 評価

<b>県民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</b>	A 評価(達成)
○ 各病院が地域に必要な医療・介護サービスを提供、診療機能や患者サービスを充実 信州医療センター:入退院支援室の設置 こころの医療センター駒ヶ根:思春期外来の開設 阿南病院:小児科日曜診療を実施、 木曽病院:患者サポートセンターの開設 こども病院:母子メンタルヘルス外来の開設	
○ 県内医療機関の人材確保への貢献 初期臨床研修医の受入・養成(信州医療センター) 連携大学院教育開始に向けた準備(こども病院) 高校生向けの病院体験会(木曽病院) 3年連続卒業生全員が看護師国家試験に合格(信州木曽看護専門学校)	
<b>業務運営の改善及び効率化に関する事項</b>	A 評価(達成)
○ 経営改善プログラムをはじめ、収益確保と費用抑制に取り組み、大幅な収支改善を達成	
○ 病床利用率は、信州医療センター・木曽病院・こども病院で目標を上回り、こころの医療センター駒ヶ根・阿南病院で目標を下回る	
<b>財務内容の改善に関する事項</b>	A 評価(達成)
○ 4.2億円の経常利益(対年度計画+4.0億円、対前年度+5.5億円)を確保	

## 2 第2期中期目標期間の業務実績の見込みに関する評価

### (1) 総合評価 A 評価：中期目標・中期計画の達成が見込まれる

病院機構が一丸となって取り組んだ経営改善により、経常収支と資金収支が第2期中期目標期間の途中から大幅に改善されてきていること、医療・介護サービスの質の向上、業務運営の改善及び効率化に関して積極的な取組により着実に成果を出している。

### (2) 項目別評価 A 評価が2項目、B 評価が1項目

<p><b>県民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</b> A 評価(達成見込)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各病院が地域に必要な医療・介護サービスを提供するとともに、新たなニーズへ対応 信州医療センター:分娩体制の再整備、治療・研究・教育を担う感染症センター開設 こころの医療センター駒ヶ根:精神科医療(児童思春期・認知症)の充実、 災害派遣精神医療チーム(DPAT)の体制整備 阿南病院:在宅医療(訪問看護等)、無医地区への巡回診療、認知症の方への支援 木曽病院:全科オンコール体制の救急医療、地域がん診療病院の指定、地域包括ケア病棟へ転換 こども病院:小児集中治療室(PICU)増床、心の診療やがん治療の充実、予防医療、在宅移行支援</li> <li>○ 県内の医療を担う人材を積極的に養成 初期臨床研修医の受入・養成(信州医療センター)、スキルスラボの充実(本部研修センター)、 3年連続で卒業生全員が看護師国家試験に合格(信州木曽看護専門学校)、 連携大学院教育の準備・開始(こころの医療センター駒ヶ根 H29～、こども病院 H31～)</li> </ul>
<p><b>業務運営の改善及び効率化に関する事項</b> A 評価(達成見込)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 経営改善プログラム等による収支改善、給与制度の見直しや職員の適正配置に取組</li> <li>○ 病床利用率は、信州医療センター・阿南病院・こども病院で目標を上回り、こころの医療センター駒ヶ根・木曽病院で目標を下回る</li> </ul>
<p><b>財務内容の改善に関する事項</b> B 評価(下回る見込)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 経常収支は4年間の累計で0.7億円の利益、経常収支比率は100.1%</li> <li>○ 資金収支は4年間の累計で現金収入が現金支出を9.2億円下回る</li> </ul>

## 3 今後に向けた主な課題

### (1) 病院機構全体

<p><b>県民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 医療需要と患者動向を把握し、質の高い医療サービスを効果的に提供すること</li> <li>○ ICT 機器を用いた遠隔診療等の導入を進めること</li> <li>○ 地域医療構想を踏まえ、地域の医療機関との機能分化・連携を図るとともに、病院規模を中長期的な視点で検討すること</li> </ul>
<p><b>業務運営の改善及び効率化に関する事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 働き方改革関連法を踏まえ、必要な措置を検討・実行すること</li> <li>○ 病床利用率の向上に向け、引き続き取組を進めること</li> </ul>
<p><b>財務内容の改善に関する事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 経営改善プログラムに加え、新たな経営改善の取組を検討・実行すること</li> <li>○ 資金収支の長期見通しを速やかに作成すること</li> </ul>

(2) 病院等別

信州医療センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 産科をはじめ地域に必要な医療を今後も提供すること</li> <li>○ 感染症医療の中核的な役割を果たすとともに、積極的に情報発信すること</li> </ul>
こころ駒ヶ根	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ゲーム依存等、精神科医療への新たなニーズに取り組むこと</li> <li>○ 児童・思春期精神科医療の強化を図ること</li> <li>○ 信州大学との連携等により、県内の精神科医師を積極的に養成すること</li> </ul>
阿南病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 下伊那南部地域に必要な医療を引き続き提供すること</li> <li>○ 病床利用率の向上に向け、病床規模・機能転換の検討を進めること</li> </ul>
木曽病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 木曽地域に必要な医療を引き続き提供すること</li> <li>○ 人間ドック等の予防医療等についても積極的に取り組むこと</li> </ul>
こども病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ こども病院に求められる新たなニーズに対応すること</li> <li>○ 県内の小児・周産期医療の水準向上のため、人材を養成・輩出すること</li> </ul>
信州木曽看護	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教員を計画的に養成・確保すること</li> <li>○ 県内の高校生に学校の強みを周知し、積極的に学生を確保すること</li> </ul>
本部	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 人事評価制度についての検討を進めること</li> <li>○ スキルラボの共同利用の促進などにより医療水準の向上に貢献すること</li> </ul>

**(参考) 評価区分**

・ 平成 30 年度

評価	判断の目安となる業務実績
S	年度計画を大幅に上回って達成している (年度計画値の 120%以上)
A	年度計画を達成している (100 以上 120 未満)
B	年度計画を下回っており、改善を要する (80 以上 100 未満)
C	年度計画を大幅に下回っており、抜本的な改善を要する (80 未満)

・ 第 2 期中期目標期間の業務実績の見込み

評価	判断の目安となる業務実績
S	中期目標・中期計画を大幅に上回って達成することが見込まれる (120%以上)
A	中期目標・中期計画を達成することが見込まれる (100 以上 120 未満)
B	中期目標・中期計画を下回ることが見込まれ、改善を要する (80 以上 100 未満)
C	中期目標・中期計画を大幅に下回っており、抜本的な改善を要する (80 未満)